

地方創生未来会議の位置づけ

～2018年度

2019年度

2020年度～

SDGs (持続可能な開発目標)

- ・ 17目標
- ・ 169ターゲット
- ・ 2030年目標年度

地方創生未来会議

- ・ 構成＝30～40歳代の若手25名程度
- ・ 対話型のワークショップを全4回開催
- ・ 将来もずっと住み続けたい、安心して子どもを産み育てられるまちづくりに向け、SDGsの観点を取り入れたプロジェクトの検討

代表者数名が、第2期総合戦略策定時に委員として参加

みやま市の特性・課題に対応して、官民共同で取り組むことにより地方創生につながるプロジェクトなどを検討

提案

◎国や県の補助事業等を活用した新規事業の推進

※補助事業を活用するためには、総合戦略等で施策を取り上げる必要あり

まち・ひと・しごと創生会議

- ・ 構成＝「産学官金労言」から20名程度
- ・ 第1期総合戦略＝2015年～2019年
- ・ 第2期総合戦略の策定

※総合戦略とは
国の地方創生の取り組みに合わせ、みやま市で人口減少に歯止めをかけ持続可能なまちとなるために、政策目標や具体的な施策を示したもの。

第2期総合戦略（2020年～2024年）

- ☆まち・ひと・しごとの創出と好循環の確立
- ☆住んでよかったと思われるまちの創出
- ☆移住・定住の促進による人口減少対策
- ☆課題を克服し、長所を活かしたまちづくりの推進

市関係部署による事業の実現性等の検討

- ・ 多種多様な団体の対話の場
- ・ 官民連携した先駆的な取り組み
- ・ 新たなビジネスモデルの創出など